第9回地域密着型通所介護運営推進会議録
 デイサービスセンターさくらんぼ

日 時 令和2年 9月24日 (木)

※上記日程で予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止の為書面上の会議とさせて頂きました。

地域代表者 3名 市役所職員 1名 に配付させて頂く。

事業所 デイサービスセンター さくらんぼ

議題 1～3. 事業所現状報告 4. 今後の行事計画 5. 非難訓練実施状況
 6. 事故内容、対応 7～8. 研修・地域交流 9. 今後の課題・問題点

1. 事業所運営状況について

営業日 月曜日から日曜日 年中無休

利用定員 18名/日

営業時間 8:30～18:00 サービス提供時間 9:00～16:15

職員 管理者兼相談員1名 相談員兼介護職員1名 介護職員7名

看護職員兼機能訓練指導員兼相談員1名

看護職員兼機能訓練指導員1名 看護師1名 計12名

2. 利用者様利用状況 (令和2年3月現在) 総人数21名

第8回運営推進会議時の利用人数 (令和2年3月)

月	火	水	木	金	土	日
17名	18名	16名	18名	16名	18名	16名

令和2年9月現在

月	火	水	木	金	土	日
17名	17名	17名	18名	17名	17名	17名

水・金曜日 16名→17名 (1名増) 日曜日 16→17名 (1名増)

火・土曜日 17名→16名 (1名減)

性別利用者数

男性	女性
5名	16名

年齢別利用者数

60代	70代	80代	90代	100代
0名	1名	7名	13名	0名

要介護度

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1名	3名	6名	9名	2名

要支援1	要支援2
0名	0名

3. 活動状況

- 8：45 送迎
- 9：00 午前 バイタルチェック（血圧、体温）
ラジオ体操 その後順番に入浴
入浴 大浴場での入浴難しい方は個室にて対応。車椅子の方はキャリーにて対応。着脱・入浴介助・見守り
待機の方 作業リハビリ（作成物、塗り絵など）
脳トレーニング（計算問題、間違い探し、パズル等）
個別リハビリ（上下肢運動など）
- 11：20 昼食前 口腔体操（体操、発声練習、パラカタ、歌など）
トイレ誘導・声かけ オムツ交換
- 12：00 昼食 食事介助・見守り
- 13：30 午後 体操、レクリエーションを実施
- 14：40 トイレ誘導・声かけ オムツ交換
- 15：00 おやつ
- 16：15 送迎

コロナ感染防止につき、マスクの着用、換気、消毒を行いながら、出来るだけ距離をとった体操、ゲームを今は考えて行っています。

4. 年間行事計画

10月	施設の敷地内での散歩
11月	季節のおやつ作り（芋を使用）
12月	クリスマス会
1月	初詣・新春のあいさつ
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り・桜花見
4月	季節のおやつ作り（イチゴ等使用）
5月	端午の節句イベント
6月	あじさい・ショウブ花見
7月	七夕飾り（笹に短冊の願い事）
8月	夏祭り
9月	敬老会

※外出行事については、屋外での機能訓練、生活機能訓練を目的としている。

※その他、おやつ作りやボランティア様の企画など不定期に開催予定

中止行事 あじさい・ショウブ花見（コロナかのため中止）

実施行事 令和2年9月20日 敬老会

敬老会では、昼食を豪華な弁当形式にし、プレゼントも渡させて頂きました。あとボランティアのクローバーの方がダンスのDVDを送って下さり、そのDVDを皆で観覧しました。また来てもらって目の前で見たいねと嬉しそうに見ている方もみえました。

誕生会

その月に生まれた方の誕生日を祝い、皆でハッピーバースデーを歌ったり、おやつにショートケーキを用意させて頂いております。

近日行事予定

10月 施設敷地内での散歩（自然に触れ季節を感じてもらう）

コロナ感染防止の為、車での外出も難しく、せめて施設周りの自然に触れストレスを軽減してもらいたいと思っています。

11月 季節のおやつ作り（芋を使用）

※コロナ蔓延拡大、予防対策が難しくなる場合中止とさせていただきます。

5. 非難訓練実施状況

令和2年4月～9月 1回実施（火事）

防火訓練 令和2年6月29日実施

避難内容

防火訓練で館内の火災による避難となりました。今回も出火場所は職員には伝えずオキタ防災の方に決めてもらい、職員は火災受信機で火災場所を確認し火災時用の電話を持って火災現場に行き火元を確認する。その後事務所に連絡し、連絡を受けた職員2名が通報、館内放送に分かれ行う。放送を聞いた職員は「指示に従い落ち着いて行動をして下さい」と大きな声でハッキリと利用者の方に伝える。事故の無いよう各自決められた担当に分かれスムーズに避難してもらう。

避難訓練評価

今回も怪我無く無事訓練を終えました。現場に行き火元を探す職員は重要で通報の際、現場状況をしっかり伝えることが必要となる。

通報時消防職員に聞かれ事

- ・火災現場の何が燃えているか？
- ・職員人数、利用者人数。
- ・誘導中に怪我をした人はいないか。
- ・初期消火はしたか？初期消火で火は消えたか？

実際、災害時は慌ててしまい現場での状況をしっかり確認できないと適格に報告できないため最低限、聞かれる内容は職員全員が把握しておく事が必要だと思われ
ます。

6. 事故内容、対応

施設内での事故報告件数

令和元年10月～平成令和2年3月 （第8回運営推進会議時公表）

事故報告 0件

ヒヤリ・ハット 2件

令和2年4月～令和2年9月

事故報告1件

内重大事故 0件（市に報告必要）

ヒヤリ・ハット報告 0件

状況

帰りの際、車椅子で移動介助中に歩行中の利用者の方がふらつき、車椅子に接触し、左足すね辺り1cm程、剥離してしまふ。

当事業所が考察する事故の対策

送迎時は入口付近と廊下は混み合わないよう、間隔を空け声かけし移動介助、誘導を行う。車椅子はいつでも止めれるよう、周囲はしっかり確認しながら移動する。

7. 研修

コロナ感染防止のため、研修がほとんど開催されていなかった。9月に入り ZOOM での研修が開催されていましたが、環境設備がまだ整っていない為参加出来ず、今後 ZOOM での参加を検討中です。

8. 地域交流

何度か来て頂いたボランティア・ダンスグループのクローバーの子供達からおじいちゃん、おばあちゃんに少しでも元気を出して喜んでもらおうとの思いで踊りの DVD を送って下さりました。コロナ禍においても気にかけてくれて下さり、とても有難く思っております。

9. 課題・問題点

コロナウイルス感染予防対策

職員出勤前の検温、出勤時に手の消毒、体温を体温測定表に記入。

- ・発熱時は出勤しない。
- ・感染の疑いのある場合

37, 5℃以上の熱が続く。咳、呼吸困難、臭覚・味覚障害。

感染者と濃厚接触があった。

など感染の疑いがある場合は主治医・保健所に相談し指示に従う。(施設においての対応も含む)

- ・職員・利用者様のマスク着用。
- ・定期的に窓を開け換気と室内での触れた物への消毒。
- ・体操・レクリエーションなどは出来るだけ距離をとり行う。

- ・利用者様の日々の状態をしっかりと観察する。

コロナウィルス感染を早期発見するためにも「いつもと違う状態」にいち早く気付く事が重要であり、そのためには、日頃から利用者様の観察に努め、健康状態を把握することが必要となる。

職員勤務外

- ・3密（密閉された空間、多数が集まる密集、間近で会話をする密接）状態の場所にたとえ勤務外であったとしても行かない。

※気付かない間に感染し、職員自身が媒体となってクラスターを起こすおそれがあるため。

- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA をインストールする。

1 1. 施設よりお知らせ

当施設ではコロナウィルス蔓延防止のため、外部の方の面会等を控えさせていただきます。

1 2. 次回第10回運営推進会議開催日予定 令和3年3月25日（木）

運営推進会議評価

前回の会議も今回の会議でもコロナウィルスに関する事柄を載せさせていただきました。まだいつ収束するか先の見えない中、職員一同気を抜く事なく対策を行っていますがそれと共に利用者の方達もマスクをしたりと今までになかった生活習慣にストレスが溜まってきていると思われます。このコロナ禍でストレスを解消する事は難しいですが、新しい体操などを取り入れ、積極的に体を動かし、皆さんが少しでもストレスの溜まらない、楽しい環境になればと思っております。

最近三重県内では感染者数も減り落ち着いてきており、御家族様への面会が時間は短いですが、出来るようになりました。

今後また状況はどうかは分かりませんが、次回会議では皆さんにお集まり頂き、顔を見ながらお話してご意見、ご感想をお聞きできれば幸いです。